

令和元年度 防災訓練実施報告

実施状況

日 時：【角間】 令和元年 10 月 8 日（火） 11:50～12:30 [避難訓練 11:50～12:00]
 【宝町・鶴間】 令和元年 10 月 7 日（月） 16:10～16:40 [避難訓練 16:10～16:30]

対象者：学生，教職員（生協等の業者も一部参加）

※角間キャンパスは，雨天のため例年より規模を縮小して実施

北地区・中地区：部局長および事務職員 南地区：講義中の学生・教員，部局長，事務職員

- 内 容：①学生・教職員等の一斉避難（一次避難場所への移動）
 ②災害対策本部の編成及び指揮命令活動
 ③自衛消防組織の編成及び自衛消防活動

目 的：大規模地震時の避難心構えの習得及び日頃の防災意識の向上並びに，災害対策本部と自衛消防隊の活動訓練

①避難訓練

避難人数（避難訓練参加人数）

合計 1,506 人 H30 年度 4,830 人 H29 年度 5,391 人	角間 981 人 H30 年度 4,341 人 H29 年度 4,776 人	北地区 人社 3 号館北側	35 人
		中地区 中庭（大屋根の下）	153 人
		南地区 アカデミックホール	793 人
	宝町・鶴間 525 人 H30 年度 489 人 H29 年度 615 人	宝町 医学類 F 棟東側駐車場	336 人
		鶴間 小立野体育館	189 人



地震発生・シェイクダウン



一次避難場所（北地区）



一次避難場所（中地区）



一次避難場所（中地区）



一次避難場所（中地区）



一次避難場所（南地区）



一次避難場所（宝町）



一次避難場所（鶴間）



一次避難場所へ移動（鶴間）

②③災害対策本部及び自衛消防隊の活動等



災害対策本部



自衛消防本部（角間）



自衛消防地区隊（中地区）



自衛消防地区隊（南地区）



応急救護所（角間）



応急救護（宝町）



初期消火活動（宝町）



避難者数の確認（宝町）



避難者数の確認（鶴間）



消火器を使った消火訓練（角間）

<p>角間</p>	<p>○学長の講評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の訓練は、雨のため例年より規模を縮小して実施した。災害は天候に関係なく起こり得ることから、訓練により浮かびあがった課題に向けた対応を進めて欲しい。 ・ 避難訓練は、特に混乱もなくスムーズに行われた。災害時には、初期避難により学生及び教職員等の安全確保に加え、近隣避難者の受け入れ等、地域としての防災対応が求められる。日頃からの訓練により、いざという時に備えたい。 <p>○消防署の講評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震の場合、負傷者や火災への対応にマンパワーを集中するため、情報収集が重要となる。今回の訓練においては、スムーズな情報収集が行われていた。 ・ 初期消火においては、煙による事故を防ぐため、出火区域の防火戸を閉めることが重要となる。このことについて、今後の訓練に加えていただきたい。また、訓練にあたり、マニュアルを見ずに行動できるよう努めていただきたい。
<p>宝町</p>	<p>○消防署の講評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生、教職員の避難はスムーズに行っていた。 ・ 大規模地震の場合、出入口が開かない場合もあるため、迅速な避難経路の確保が大事である。小さな火種のうちは消火器による消火活動も有効であるが、火災が発生していない場合は、救助活動を優先して行って欲しい。
<p>鶴間</p>	<p>○消防署の講評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練については、特に問題なく実施できていたので、よかった。 ・ 「知らないこと」は「恐れ」につながり、突然発生する地震等の災害に対応ができないことになる。地震は、起こった後が大変であるため、日頃から訓練等で自分の身の安全を確保する方法を「知っておくこと」を心かけてほしい。